

令和2年度病害虫発生予察情報 特殊報第1号

令和2年9月15日
発表：福島県病害虫防除所

1 害虫名：トビイロシワアリ

2 学名：*Tetramorium tsushimae* Emery

3 作物名：夏秋トマト（雨よけ栽培）

4 発生経過

令和2年8月に、県中地方の夏秋トマト（雨よけ栽培）ほ場において、萎凋、枯死する株がハウスの一部で認められ、地際にアリ類の寄生及び食害痕が確認された（写真1、2、3）。病害虫防除所で現地を調査し、被害株元土壌からアリ類を採取して、横浜植物防疫所に同定を依頼した結果、これまで本県で被害発生が未確認のトビイロシワアリと同定された。なお、本種のトマトへの加害は日本ではこれまで確認されていない。

本種はこれまで福岡県、千葉県、広島県、香川県、佐賀県、長崎県、山口県、滋賀県、群馬県、茨城県、静岡県、埼玉県、長野県、新潟県、東京都、石川県および神奈川県の17都県でキャベツ、ブロッコリー、ナス等の農作物への被害報告がある。

5 形態

体長は2.5mm。体は褐色から黒褐色。腹柄は2節、触角は全体12節でこん棒部は3節からなる。前伸腹節後背部に1対のとげ状突起を有する（写真4）。頭部にほぼ平行に縦走するしわを有し、胸部にもやや網目状の弱いしわを有する（写真5）。

6 生態と被害状況

本種は、屋久島以北の日本各地に分布しており、本土で普通にみられるアリの1種で、比較的乾燥した場所を好み、日当たりの良い裸地や植物の根元、石の下や腐朽木の中に巣を作る。巣の入り口は盛り上がり、クレーター状になる。食性は雑食性で、植物の甘露、種子、樹液、昆虫等を食べる。

今回確認された雨よけ施設では、定植直後より灌水を極力控えていたことにより、土壌が乾燥し、根張りが十分ではなかった。そこに、本種による食害が加わり、株が枯死にまで至る被害が生じたと考えられる。

7 防除対策

現時点で、トマトおよびその他作物に登録のある農薬はない。深耕、ほ場周辺の除草や灌水による巣の破壊など、物理的・耕種的防除に努めるとともに、灌水等で作物の活着及び生育を促進して被害軽減を図る。

病害虫発生予察情報ホームページにも掲載されています。<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

問い合わせ先：福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）

TEL：024-958-1709 FAX：024-958-1727 e-mail：yosatsu@pref.fukushima.lg.jp



(写真1) 被害を受けたトマト株



(写真2) トマトの地際部および巣穴



(写真3) トマト地際部の食害



(写真4) トビイロシワアリ側部



(写真5) トビイロシワアリ頭部